

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護の基本Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験とその関連資格	看護師 介護教員 病院、介護福祉施設の介護職員への指導看護師実務経験15年			
《授業科目における学習内容》						
介護全般知識を座学で学び、介護の知識を正しく理解でき、専門性を高めていくように学習する						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% 出席20% 授業態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
介護保険は理解する。福祉小六法参考						
《履修に当たっての留意点》						
社会の理解と連動している 福祉関連は法はポイントを把握し国家試験対策とする						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を構成する重要な要素を理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	介護福祉を必要とする人の理解 生活活動の種類			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活とはどのような特性をもっているのかを理解していくことができるようになる			
		各コマにおける授業予定	介護福祉を必要とする人の理解 生活の特性			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職のかかわる高齢者の事例を学ぶことができるようになる			
		各コマにおける授業予定	介護福祉を必要とする人たちの暮らし(高齢者の暮らしから)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職のかかわる障害者の事例を学ぶことができるようになる			
		各コマにおける授業予定	介護福祉を必要とする人たちの暮らし(障害者の暮らしから)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職として「その人らしさ」の多様性について理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	「その人らしさ」と「生活ニーズ」について(その人らしさとは～背景)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職として「生活ニーズ」の多様性について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	「その人らしさ」と「生活ニーズ」について(その人らしさとは～背景)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	日常生活から、生活のしづらさを学んでいく		
		各コマにおける授業予定	生活のしづらさの理解とその支援		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族介護者とその支援について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	家族介護者への支援		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の生活を支えるフォーマルサービスを理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	生活を支えるフォーマルサービスについて(高齢者を支える)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者の生活を支えるフォーマルサービスを理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	生活を支えるフォーマルサービスについて(障害者を支える)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	フォーマルサービスとインフォーマルサービスの関係について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	生活を支えるインフォーマルサービスについて		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域連携の意義と目的・組織・団体・地域福祉の担い手について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	地域連携について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	セーフティーマネジメントの考え方を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護における安全確保～リスクマネジメント		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	事故防止・予防のための対策について学び、理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	身体拘束～福祉サービスに求められる安全・安心		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期の振り返り		
		各コマにおける授業予定	まとめと試験対策		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護の基本Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	看護師 介護教員 病院、介護福祉施設の介護職員への指導看護師実務経験15年			
《授業科目における学習内容》						
介護全般知識を座学で学び、介護の知識を正しく理解でき、専門性を高めていくように学習する						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% 出席20% 授業態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
介護保険は理解する。福祉小六法参考						
《履修に当たっての留意点》						
社会の理解と連動している 福祉関連は法はポイントを把握し国家試験対策とする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	介護福祉職に必要な感染に関する正しい知識について理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	感染症対策について			
第 17 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	発生時の対応フローを理解し報告の方法を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	感染発生時の対応			
第 18 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	感染症について理解と報告の義務について学び、介護現場で活かせるようになる			
		各コマに おける 授業予定	感染症の分類・届け出・対策			
第 19 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	多職種連携・協働の必要性について、理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	多職種連携・協働～機能と役割			
第 20 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	多職種連携・協働に求められるコミュニケーション能力を学び、身につけることができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	多職種連携・協働に求められる基本的な能力(コミュニケーション能力)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職と協働するさまざまな職種について学び、介護現場で活かすことができるようになる		
		各コマにおける授業予定	保健、医療、福祉職の役割と機能		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職からみる連携の実態から専門性を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	多職種で協働することについて		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	働く人の法制度を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護従事者の安全 健康管理の意義と目的		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の健康管理について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護従事者の安全 健康に働くための健康管理		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレスとこころの健康の関係について学び、理解できるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護従事者の安全 こころの健康管理～ストレス		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者のこころの健康管理方法について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護従事者の安全 こころの病気		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の身体健康障害の要因を理解することができる		
		各コマにおける授業予定	介護従事者の安全 身体健康の健康管理		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	労働条件の整備について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護従事者の安全 労働環境の整備 事例で予防対策を考える		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	ケガを防ぐために労働環境の整備について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護従事者の安全 労働環境の整備して、ケガを予防する		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期の振り返り 試験		
		各コマにおける授業予定	まとめと試験		